

# 経営比較分析表／団体全体（平成30年度決算）

福島県 白河市

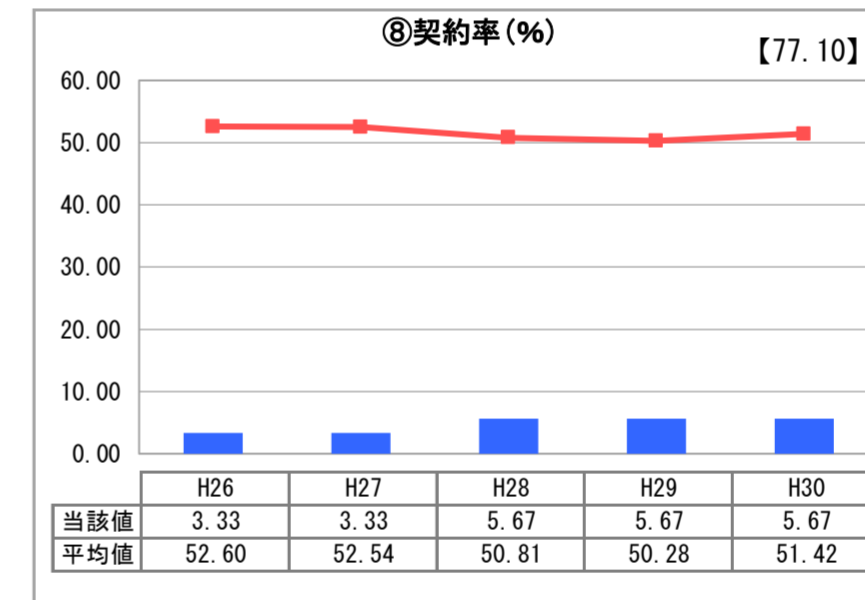
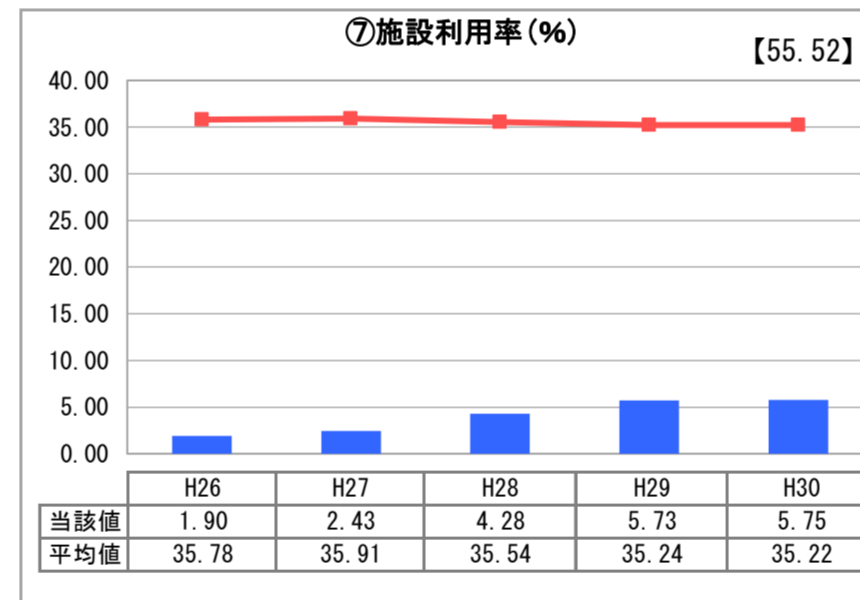
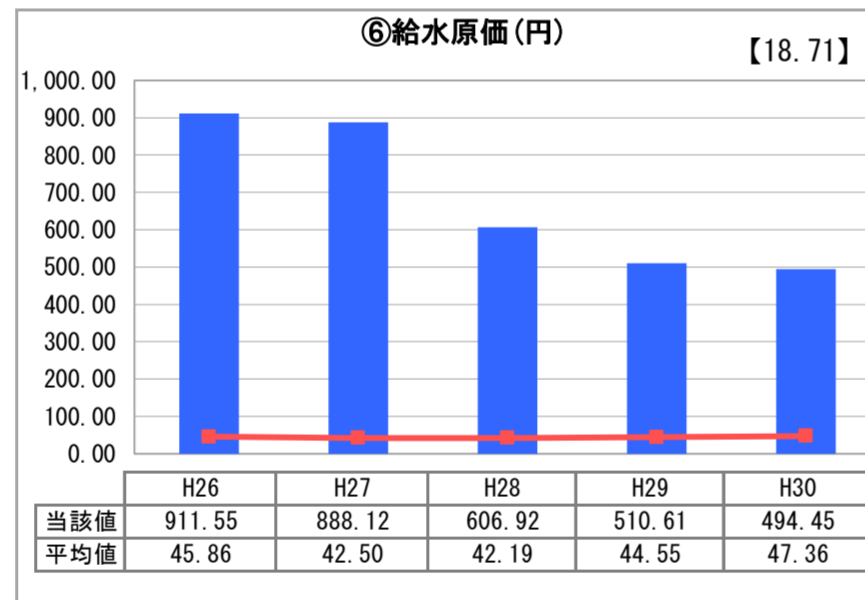
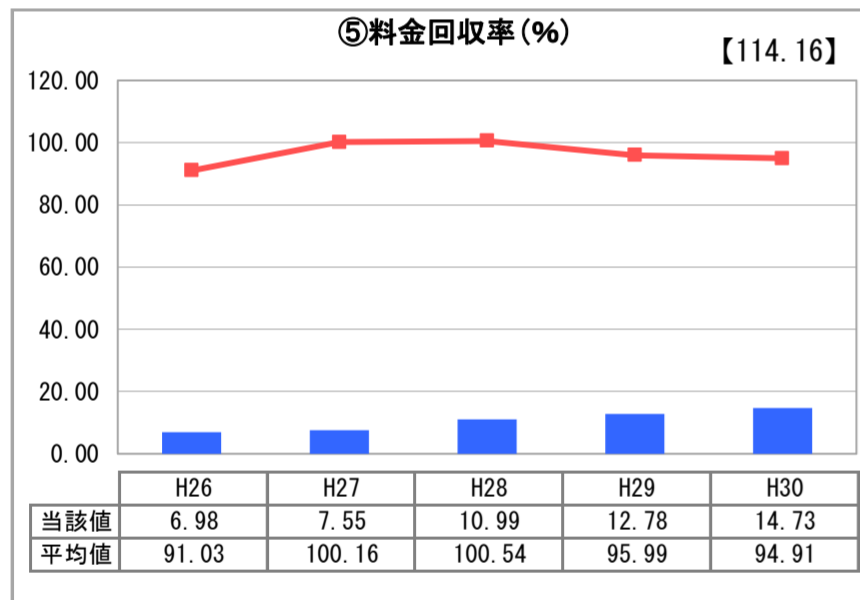
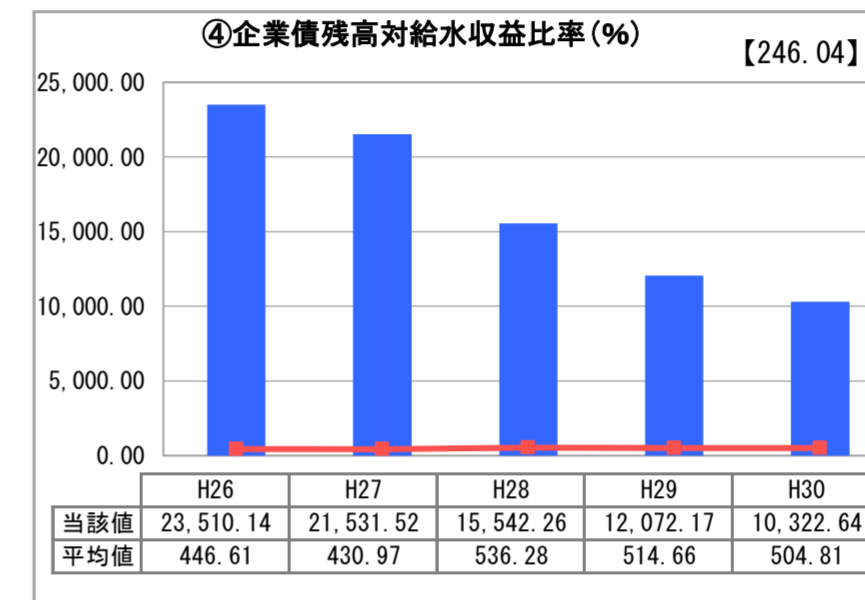
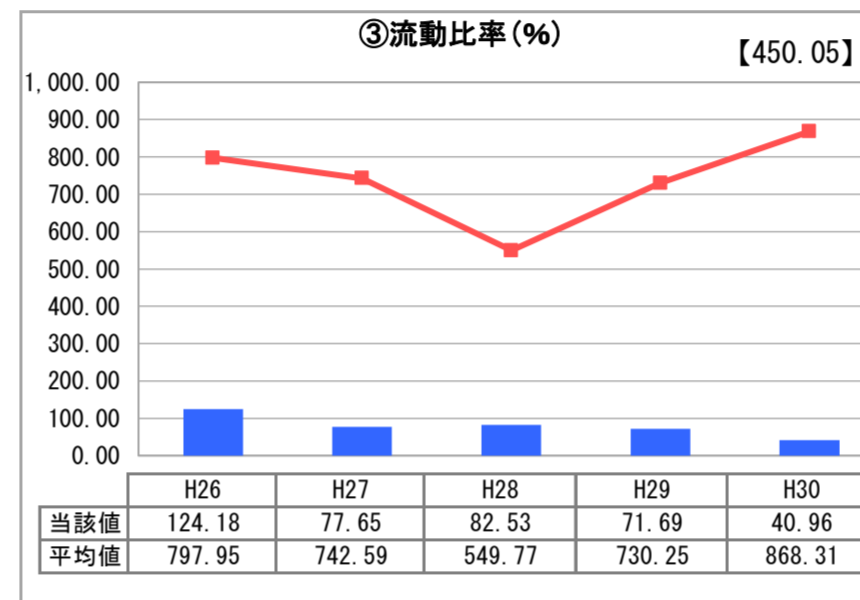
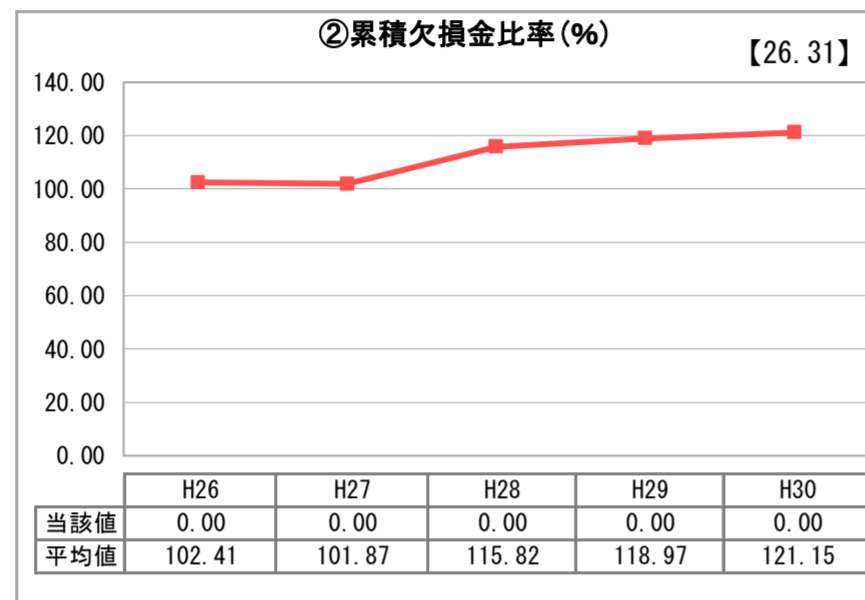
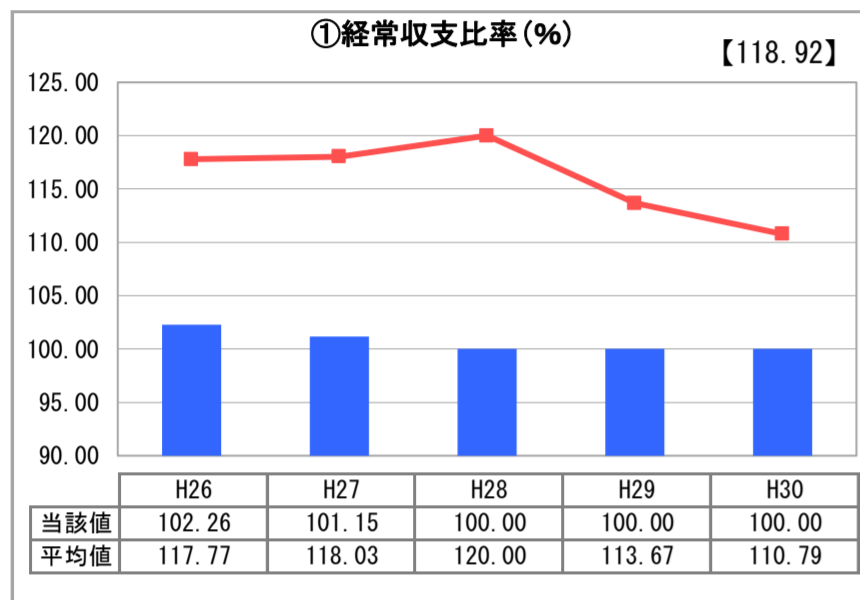
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	6,000	極小規模	1	345
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	14.7	3	340	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

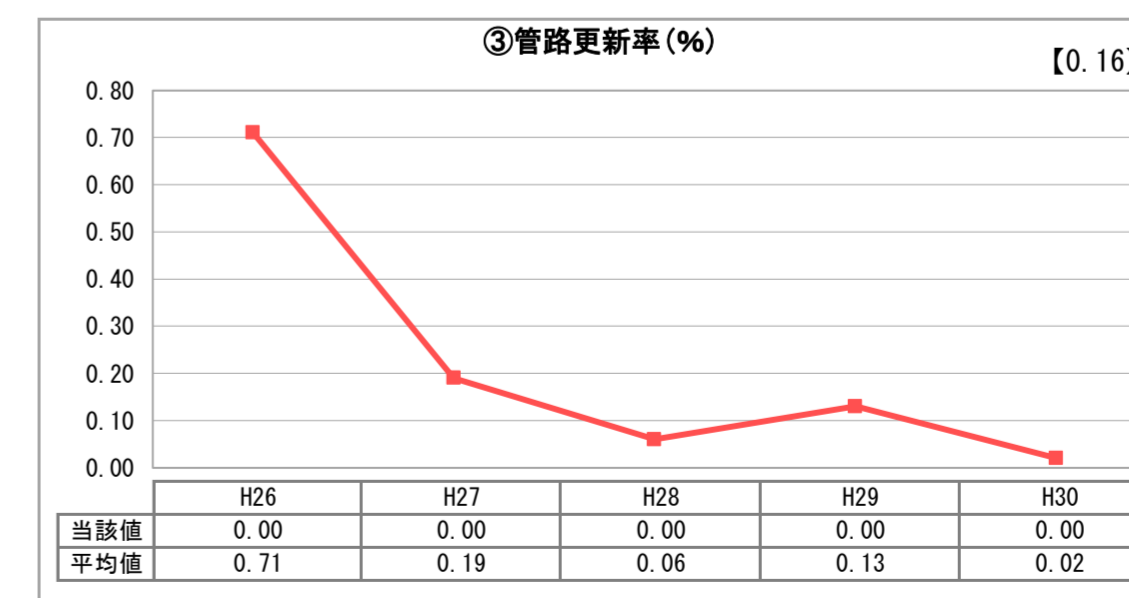
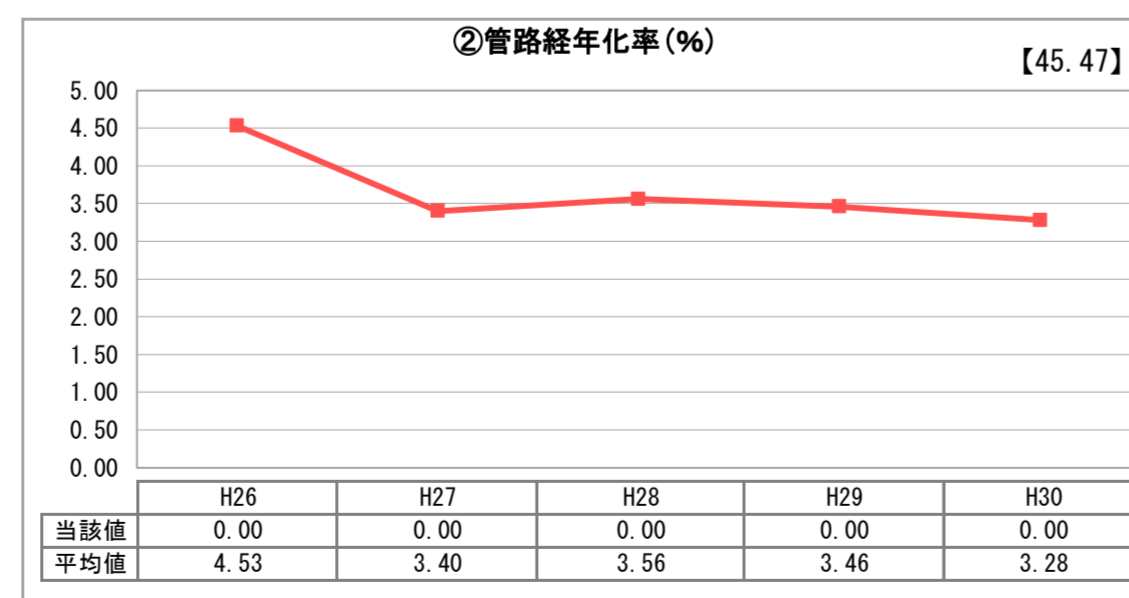
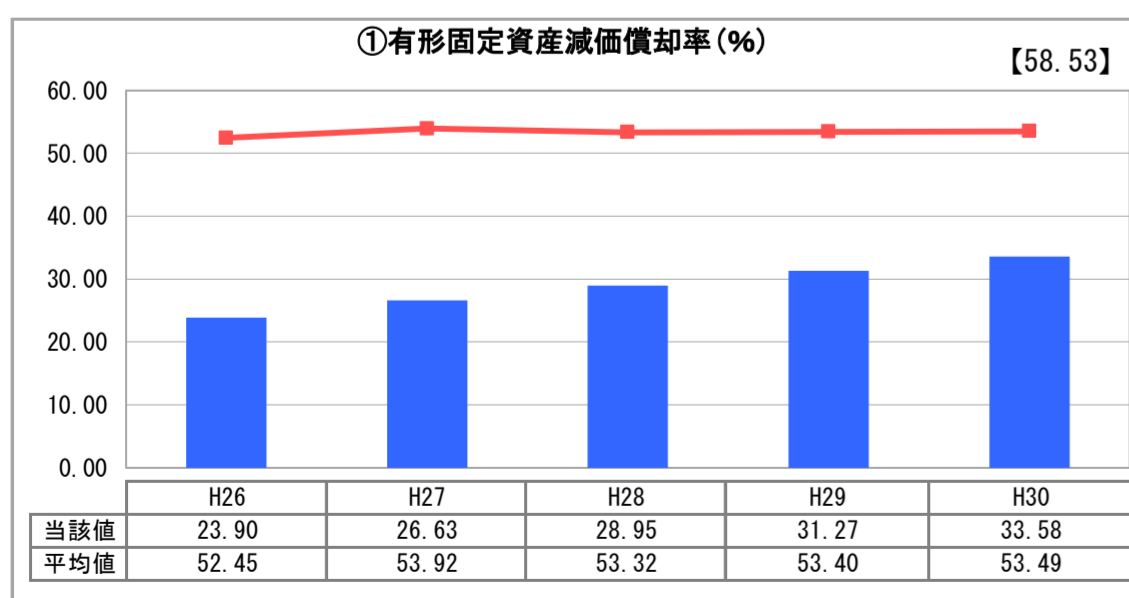
### 1. 経営の健全性・効率性について

当市の工業用水道事業の給水状況は、事業所数が3社、契約水量も少なく、収益の大部分を他会計からの繰入金によって賄われている状況にある。近年は、契約水量の増加により、⑤料金回収率、⑦施設利用率等の増加となっているが、今後も厳しい経営状況が予想される。

### 2. 老朽化の状況について

老朽化については、まだ償却年数を超える管路等がないため、管路更新を行ってはいないが、今後の管路等の修繕・更新等を見込んで、さらに経営の健全化に努める必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

経営状況としては厳しい状況にあり、営業収益の向上のためには、給水契約水量の増量が必要不可欠となっている。関係各機関と強い連携のもと企業誘致や既存企業の増設を促し、配水能力を効果的・効率的に発揮できる経営環境づくりに努め、経営の健全化を目指してゆきたい。